

「ジャズ文化浸透させたい」

岐阜市金町の市文化センターでは、大人数で編成するビッグバンドを育てるため、ジャズ・ポップス教室を開く。岐阜を代表するバンドを公共施設が育て上げるのは、全国的にも珍しい取り組みだ。日本を代表するラテンジャズのビッグバンド「熱帯JAZZ楽団」のサククス奏者で、名古屋芸大教授の野々田万照さん(右三)＝同市鷺山＝らプロのミュージシャンが指導し来年二月二十二日、同センターで開くジャズフェスティバルでのデビューを目指す。「岐阜にジャズ文化を浸透させたい」と話す野々田さんにジャズ・ポップス教室開催への意気込みなどを聞いた。(水野晶子)

岐阜市文化センター ビッグバンド育成教室開設へ

「サククスを始めたのうと考えていましたが、サククス一本を持って東京へ行くことを決意しましたね。高校卒業と同時に上京、本多さんに弟子入りしました」

「高校のプラスバンド部ですね。五歳年上の兄が組んでいたジャズバンドに参加したくて、プラスバンド部に入部して習い始めました。ジャズを演奏したかったけれど、演奏するのはクラシックばかり。そこで有志を集めてジャズバンドを結成したりしていました」

「高校二年生のときにライブで衝撃を受け、ジャズの道に進むことを決意されたそうですね。」「ライブハウスイターで来岐したサククス奏者本多俊之さんの演奏を初めて生で聴いて衝撃を受けました。それまでは大それたことだと思いません」

「十一年前、長女の誕生を機に新鮮な空気とおいしい水を求めて岐阜に帰郷しました。山があり、川が流れて、空気がおいしい。今の自分があるのはやはりこの環境があったことだと思います」

「後は、有名歌手のサククス奏者として全国で演奏するほか、映画音楽も手掛けるなど多忙な野々田さんが、なぜ岐阜で活動を。」

「近年は、全国各地で公演し、多くのCDを発売する傍ら、岐阜市を中心に小学校などでミニコンサートを開くなど、芸術普及活動にも積極的に取り組んでいるが。」

プロのサククス奏者 野々田さんが意気込み

「ジャズは、音楽をその場でつくり上げていく創造芸術。生演奏には、見ている体が動き出すような楽しさがあります。児童からは「こんなおもろい音楽とは思わなかった」と驚きの声も寄せられることも」

「ジャズ・ポップス教室開催への意気込みは。」「他人と演奏し息が合ったときの楽しさは誰にでも経験があるもの。ジャズの経験がない人でも大歓迎。ビッグバンドの魅力に触れるいい機会なのでぜひ参加してほしい」



同教室の応募条件は、演奏経験二年以上でオーディションと八月から始まる練習(入門は月二回、実践は月一回ペース)に参加できること。対象は、トランペット、トロンボーン、サククスなど。レッスン料として一般一万円、高校生以下五千円が必要。七月二十一日にオーディションを行う。申し込み締め切りは六月三十日。問い合わせ、申し込みは市文化センター、電話058(262)6200。

「岐阜にジャズ文化を浸透させたい」と意気込む野々田万照さん＝同市美江寺町、岐阜市民会館